

障害学生支援室だより

第4号 2025年10月

みなさん、今年度も半年が過ぎ、後学期になりましたね。

電気通信大学には、障害等の理由で修学上の悩みや困りごとなどのある学生をサポートする場所があります！それが、障害学生支援室です。障害学生支援室では、障害のある学生との面談や合理的配慮についての相談などを受けています。障害のある学生も大学で充実した日々を過ごすことができるようサポートしていますので、何か困ったことなどがある際はぜひご相談に来てください！

“障害”といっても様々な障害種別（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱・虚弱、発達障害、精神障害など）に分けることができ、それぞれの障害種別にも様々な障害があります。その中で、今回は、発達障害についてご紹介したいと思います。

発達障害について

・発達障害とは

中枢神経系（脳機能）の障害のため、生後早期から認知やコミュニケーション、社会性、学習、注意力等の能力に偏りや問題を生じ、生活にさまざまな困難をきたす状態をいいます。複数の発達障害を併せ持つ方もいます。

発達障害は見た目では分かりにくく、行動面や言動での特性が現れることもありますが、障害の程度によってはそれらが目立ちにくいことも少なくありません。

・発達障害の特性はスペクトラム

発達障害は一見するとわかりにくく、障害の有無の境界も曖昧です。“スペクトラム”とは「連続体」を意味し、皆少なからず発達障害のような特性を持っており、その程度が一人ひとり異なることを表しています。また、同じ診断名であっても有する特性によって問題の起こり方が異なります。

皆さんの中には、「自分は発達障害なのでは？」と感じている方もいるかもしれません。発達障害の診断がつくのか、よりも、自分にはどのような特性や傾向があるかを理解し、それらとどのように付き合っていくかを考えることが大切です。

・二次障害

発達障害は、見た目ではわかりにくいことで、本人の努力不足や甘えと捉えられることがあります。障害のためにうまくできないことが「本人の努力不足のため」と誤解され、叱責を受け続けるうちに自尊心が低下し、不安、落ち込みなどの二次障害が生じる場合があります。

二次障害は、周囲の理解やサポートによって予防することができると言われています。

○発達障害の主な種類

自閉スペクトラム症（ASD）

- ・社会的コミュニケーションの苦手さや、行動の柔軟性のなさ、変化に対処することへの苦手さなどが主な特徴です。
- ・社会的状況に相応しい振る舞いが苦手、相手の気持ちを察したり読み取ったりすることが苦手、急な予定変更などの変化に弱い、こだわりが強い、感覚過敏などの特徴があります。

注意欠如・多動症（ADHD）

- ・注意力・集中力がない（不注意）、じっとしていられず落ち着きがない（多動性）、思いついたことを後先考えずにしてしまう（衝動性）、という3つが大きな特徴で、すべての特徴が認められる方も、3つの内一部が強く認められる方もいます。
- ・提出物の遅れ、遅刻が多い、不注意なミスが多い、複数の課題を同時にこなすのが難しい、整理整頓が苦手、課題に取りかかるまでに時間がかかるなどの特徴があります。

限局性学習症（SLD）

- ・読み書き能力や計算力などの算数機能に関する、特異的な発達障害の1つです。学習障害には、読字の障害を伴うタイプ、書字表出の障害を伴うタイプ、算数の障害を伴うタイプの3つがあります。
- ・文字や文章を読むことや書くことに時間がかかる、飛ばし読みをしてしまう、自分がどこを読んでいるのか分からなくなる、マス目からはみ出して書いてしまうなどの特徴があります。

発達障害には、様々な特性がありますが、生活や環境との相互作用によって、「困りごと」になることも、「強み」になることもあります。自分の特性を「強み」として発揮できる環境を時に周囲の人の力を借りながら作れると良いと思います。

障害学生支援室の面談予約方法

障害学生支援室では、臨床心理士・公認心理師のコーディネーターが相談に応じています。

どんな支援を受けられるのかな、自分でも受けられるのかな、と思う方もいらっしゃるかも知れませんが、気になることがあれば、まずは相談してみてください。気軽な質問なども大歓迎です。

*予約方法

窓口：B棟1階 学生サポートルーム

Tel：042-443-5084

Mail：shien@office.uec.ac.jp

*開室時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

